



浜田水産高校「同窓会会報」



〒697-0051

浜田市瀬戸ヶ島町25-3

TEL 0855-22-3098 Fax 0855-23-4811

E-mail hamadasuisan-hs@edu.pref.shimane.jp

H P http://hamasui.ed.jp

会長あいさつ

浜水会会長 山崎 晃
浜水会員の皆様におかれましては、全国各地で日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は母校及び同窓会「浜水会」の発展のため、物心両面のご高配を頂き厚く御礼を申し上げます。



さて、母校は平成29年10月28日に、待望の創立70周年記念式典を開催しました。浜水会としましては、趣意書を作成し、20年ぶりに募金活動をさせていただきましたが、その節には大変お世話になりました。事業内容は、①初代丸川久俊校長先生のモニュメントサインの贈呈、②70周年記念誌への助成、③教育施設設備の整備、④浜水会基金等に充てる募金活動です。70周年記念事業に併せて10年ぶりの会員名簿の発行にも取り組みました。

70周年式典とモニュメントサインの贈呈式には丸川久俊校長先生のお孫さん、丸川 章様が東京から参加される予定でしたが、直前に緊急入院されることになり参加できなくなりました。以来2年間の治療・リハビリ期間を経てお元気になられ、やっと丸川章様を令和元年11月11日（月）～14日（水）の3泊4日で浜田市へご招待することができました。

丸川 章様は昭和23年生まれで、中学2年まで浜田市立第二中学校に在籍しておられました。滞在中にお母様の出身地である旭町坂本地区を私の車で案内しました。お母様の実家である山崎家は旧家で、お父様は県議会議員、親子三代で県議会議員をされたようです。案内は地元出身の浜水高第14期漁業科卒の谷尾実美様に大変お世話になりました。谷尾様は山崎家の墓地の墓守をしておられる方でした。そして浜田市内の鏡山の墓地、畳ヶ浦、浜田城、県立大学周辺、夕日パーク、浜田漁港他名所旧跡を案内しました。

3日目に浜田水産高校を訪問していただきました。中村公一校長、浜水会から山崎、中村副会長、事務局、そして広島大学元教授中川平介様にも広島から参加していただきました。丸川 章様からは浜田水産高校に対して多額のご寄付をちょうだいいたしました。モニュメントサインにご案内した際には山陰中央新報の取材を受け、写真撮影もありました。また、図書館の丸川文庫や、丸川校長先生愛用の顕微鏡を手になされて懐かしんでおられました。

夕方には料亭「十久利」で丸川 章さんを囲む会を13名で開催しました。旧職員の中谷徹二先生は、浜田二中時代の1年生で同じクラスということで、急遽声をかけて参加していただきました。お二人は

実に57年振りの再会で話が弾み、楽しい一時を過ごすことができました。平成24年の関西浜水会総会で「浜田に丸川校長先生の銅像を作ろう！」の発案から、5年後に70周年記念式典とモニュメントサインの贈呈式、2年後に丸川 章様を浜田に招待して、新聞社の取材を受けて掲載していただきました。浜水会の会員の皆様や浜田市民の皆さんに、水産学博士として初代校長丸川久俊先生の功績を報道することができましたが、この間実に7年の歳月がかかりました。



モニュメントサインを囲んで

次に昨年1年間を振り返ってみますと、4月9日（火）に入学式があり、海洋技術科30名、食品流通科17名、専攻科10名が入学しました。6月22日（土）は浜水会役員会を開催し、70周年記念事業報告として①丸川校長先生モニュメントサイン②70周年記念事業③募金事業の決算及び残額の使途④会員名簿の状況等の最終報告をさせていただきました。

7月21日（日）には、第10回浜水会広島支部総会に、学校から中村公一校長先生、日原和浩教諭と、浜水会から山崎と中村副会長が出席しました。

9月29日（日）には、第25回関西浜水会総会に中村公一校長先生と中村副会長と3名で出席しました。阪神大震災を契機に2府5県の関西浜水会が誕生して25年になり、式典後の祝宴会では大阪浪花館の神楽社中による恵比須舞が上演されました。女性の参加も7名となり25周年にふさわしい祝宴会となりました。10月26日（土）～27日（日）と水高祭が盛大に開催され、多くの卒業生が顔を見せてくれました。

11月18日（月）は第22回郷土芸能体験学習「浜田民謡教室」を開催しました。母校勤務中からの継続事業で22年目となりました。3年生の諸君も浜田節男踊りに積極的に取り組んでいました。1月31日（金）には「いわみーる」で課題研究発表会が開催

されました。来賓や事業所、1・2年生出席のもと、食品流通科、海洋技術科が7つのグループで発表されました。先輩からの継続研究もあり、特にマルハマ食品と共同開発された「あきひさの万能だれ」を販売することができたのは、ノドグロふりかけに続いての快挙です。

2月22日（土）には第5回の「浜水を語る会」をジョイプラザで開催しました。参加者は39名で、浜水高時代の思い出を大いに語って頂きました。この語る会は浜水会の宝物として継続していきたい事業です。

2月29日（土）には浜水会入会式で46名の卒業予定者に激励の言葉をかけさせて頂きました。3月1日（日）の卒業式は新型コロナウイルスの関係で、来賓なしで開催されました。

このように1年間浜水会関係の行事に参加させて頂きました。終わりに、島根県立浜田水産高等学校と浜水会の益々の発展と、会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしますとともに、浜水会発展のため一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

退任するにあたって

校長 中村 公一

校長室の窓から望む日本海が穏やかな日差しに映え、島々の景観と陰影が織りなす幾千年変わらない悠然たる姿に、しばし時の経過を忘れてその景色の中に身を委ねていると今までの様々な出来事が走馬燈のごとく頭に浮かびます。



私の教員生活は平成4年4月、母校である浜田水産高校でスタートしました。間もなく28年間の長かった航海も終了しようとしています。この間、多くの方々の支援のおかげでどうにか勤め上げることができたことに厚く感謝を申し上げるところです。今までの教員生活を振り返ると印象に残ったことが二つあります。

一つは平成13年2月、ホノルル港を出港した愛媛県立宇和島水産高校所属の「えひめ丸」とオハフ島付近で、一般人を体験乗船させていたアメリカ海軍の原子力潜水艦「グリーンビル号」の衝突事故です。当時、私自身マグロ漁業実習のため、指導教官として本県練習船「神海丸」に乗船し、付近海域で操業中に事故の概要を知り、「このような事故が起きるのか」と衝撃を受けたことを今でも鮮明に記憶しています。想定外の事故や災害に備えて、常に安全を確保するためには、機械に頼るだけではなく五感をフルに働かせることが大切だと思ったことを憶えています。

もう一つは、島根県教育委員会に勤務していた平成20年10月、漁業実習から境港に帰港しようとしていた本県練習船「わかしまね」と漁場向け航行中の地元漁船が境水道で衝突し、「わかしまね」が

沈没した事故です。ただ、幸いなことは双方とも人命に影響がなかったことです。しかしながら実習中の生徒達の生命が危険にさらされたこと、また、貴重な県有財産を失ったことは大変残念なことでした。その後、事故処理や新船建造等で問題解決すべく多くの人々と知り合い、いろいろなことを学ぶことができたことが、その後の管理職として勤務する上で大いに役立つことになりました。

退職後は、これまでの経験から得たことを活かしながら、様々な観点から島根の水産教育発展のために微力ながら尽力できればと考えています。

最後に浜水会の益々のご発展、さらに会員皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、退任の挨拶とさせていただきます。本当に長い間、お世話になりました。ありがとうございました。



愛媛丸の慰霊碑

(カカアコ・ウォーターフロント・パーク)

令和元年度 浜水会役員会

日 時：令和元年6月22日（土）10:00～12:00

会 場：浜田水産高校会議室

会長、副会長、顧問の三役をはじめ、理事、監査及び事務局計17名の参加により、令和元年度役員会を開催しました。また、今回も理事である松江支部長の佐藤美則様（16P）と、広島支部長の田中輝隆様（17P）にも遠路よりご参加頂きました。役員会は顧問の中村校長から、現在浜田・江津の生徒が106名、浜田・江津以外の県内の生徒が8名、県外生が45名である等の学校状況について説明がされた後、議事に入りました。

議題

①平成30年度事業報告

事務局より報告、承認されました。

②平成30年度決算・監査報告

会計担当より同窓会会計及び名簿積立金会計の決算報告及び、会計監査より監査報告が行われ、承認されました。

③令和元年度事業計画（案）

事業案については事務局からの提案どおり承認されました。

④令和元年度予算（案）

会計担当より提案があり、承認されました。

⑤支部への支援について

創立25周年を迎える関西浜水会、再開10周年となる浜水会広島支部の両支部へ、記念事業と今後の活動を支援するため、本部よりそれぞれ10万円の支援金を拠出することになりました。

⑥その他

出席された理事より、次のような意見・要望がありました。可能な限りこれらを反映させた浜水会運営となるよう、事務局として努力したいと思います。

- ・今の生徒さんに対して何か応援できるか？
- ・生徒に対して行った事を記載してほしい。
- ・OB会としてどのような方向性にするのか？
- ・同期生単位でもいいので浜田支部を作してほしい。人集めに大変苦慮している。
- ・決算報告がわかりにくいので、もう少し工夫して欲しい。

広島支部総会・懇親会

日 時：令和元年7月21日（日）11:00～16:00

会 場：ホテルセンチュリー21 広島

出 席：23名

議 題：平成30年度会計・監査・行事報告・令和元年度予算・行事計画・質疑応答その他



令和元年度広島支部総会・懇親会

広島支部再開後10回目という節目の総会・懇親会が開催され、本務事務局からは山崎会長、中村副会長、中村校長、日原教諭の4名が参加しました。関西浜水会からも事務局長井上稔義様（10P）、監事白川克範様（17P）理事兒玉喜子様（28P）の3名が見えでした。支部同士の交流も進んでいるようです。

1回目の総会は平成22年7月17日、会場は現在と同じ「ホテルセンチュリー21 広島」で行われました。当時の首相は菅直人さん、高速道路無料化社会実験が始まり、広島・浜田間の高速道路料金が安くなった年です。また、探査機はやぶさ1号が小惑星イトカワからサンプルを採取して地球へ帰還した年でもありました。参加者の皆さんもそれぞれの10年を振り返られたことだと思います。

関西浜水会総会・懇親会

日 時：令和元年9月29日（日）11:00～16:00

会 場：ニューオーサカ ホテル

出 席：40名

議 題：平成30年会務報告・会計、監査報告・役員、会則の変更・母校への贈呈・その他



令和元年度関西浜水会総会・懇親会

関西浜水会では25回目の総会・懇親会が行われました。本部事務局から山崎会長、中村副会長、中村校長が出席しました。また、広島支部長の田中輝隆様（17P）もお見えでした。

山崎会長の挨拶にあるとおり、阪神・淡路大震災を契機に発足した関西浜水会は、25年の歴史を刻みました。この間会員の皆様が親睦を深めたり、母校の様子を知る手がかりになったと思います。今後も本部事務局から翠香や浜水だよりをお届けし、浜水会や母校の現状をお知らせしたいと思います。

丸川 章さんを囲む会

浜田水産高校創立70周年式典の前日である平成29年10月27日（金）、初代校長丸川久俊先生のモニュメントサイン除幕式が行われました。この会場にはお孫さんである丸川 章様にも参加して頂く予定でしたが、直前に体調を崩されて叶いませんでした。しかし、登下校する生徒たちを見守るように佇むモニュメントサインを、ぜひ丸川様にご覧頂きたいと願っておりましたところ、ようやく回復され昨年の11月11日から4日間の日程で浜田へ来て頂くことができました。

11月13日の浜田水産高校訪問の折、モニュメントサインを見て頂くことができ、事務局としての念願を果たすことができました。そしてこの訪問を山陰中央新報が取材し、「丸川久俊の伝わる功績 孫の章さん、記念碑建立に感謝」というタイトルで新聞に掲載されましたので、記事を読んだ会員の方も多いのではないのでしょうか。また、この記事をとおして多くの人に丸川久俊先生の功績を知ってもらう事ができたことを、この事業に携わった事務局の一員として喜ばたいと思います。

13日の夜には、市内の料亭で「丸川 章さんを囲む会」を開催しました。丸川様の同級生である、本校海洋技術科旧職員の中谷徹二さんにも急遽参加して頂き、賑やかな会となりました。



丸川 章さんを囲む会

翌14日、丸川様は東京へと帰って行かれました。短い時間ではありましたが丸川様の人柄に触れ、又ぜひお目にかかりたいと感じました。丸川様の面影は写真の丸川久俊先生と似ておられ、先生もこのようなお人柄であったのかと思いを馳せました。

「浜水を語る会」

期 日：令和2年2月22日（土）

時 間：第1部 17:00～18:00

第2部 18:00～20:00

会 場：オープンハート ジョイプラザ

出 席：39名

平成28年に始まった「浜水を語る会」も今回で5回目となり、浜水会の年中行事として定着してきました。参加者の幅も少しずつ広くなり、若い会員の姿もちらほら見られるようになって来ました。多くの会員にこれからも参加していただき、継続していきたい事業です。県外におられる会員の皆さんも、帰省に合わせて参加してみたいはいかがでしょうか。



40期から65期の若い参加者

浜水会入会式

令和2年2月29日（土）70期卒業予定者の浜水会入会式が挙行され、海洋技術科28名、食品流通科18名合計46名が新たな会員となりました。社会に漕ぎ出す生徒たちに山崎会長から激励の言葉が贈られると、入会生を代表して海洋技術科3年の宅間風沙さんが、「諸先輩方のご指導、ご助力を頂きながら、卒業生としてさらなる伝統を築き、母校の発展のために力を尽くすことを誓います。」と力強く宣誓してくれました。卒業生は今後の人生を『浜田水産高校の卒業生』というゼッケンを付けて歩んでいきます。途中で皆さんと出会うことがあるかも知れませんが、その時は同じゼッケンを付けた者同士として、暖かく迎えて下さい。

卒業生の進路先一覧を載せておきます。皆さんの卒業当時と比べてみて下さい。また、皆さんが聞いたことのある事業所等を、進路先として選んだ生徒はいないでしょうか。

【70期卒業・専攻科修了生の進路先】

	事業所名	地域	業種等
海洋技術科	就職		
	宇部興産海運(株)	山口	内航海運
	江田島海運(株)	広島	曳船
	神原タグマリンサービス(株)	広島	曳船
	日本海洋事業(株)	神奈川	海洋調査
	(株)浜田あけぼの水産	浜田	底曳き漁業
	浜田港運(株)	浜田	港湾荷役
	浜田ビルメンテナンス(株)	浜田	建物管理
	富士海運(株)	山口	内航海運
	宮崎産業海運(株)	大分	内航海運
食品流通科	就職		
	よろこぼう屋	浜田	介護職
	海上自衛隊		
	陸上自衛隊		
	進学		
	長崎総合科学大学	長崎	工学部
	比治山大学	広島	現代文化学部
	美作大学短期大学部	岡山	幼児教育学科
	専攻科	浜田	漁業科・機関科
	就職		
専攻科	就職		
	石見食品(株)	浜田	食品製造
	石見まるいち	浜田	飲食業
	山陽食品(株)	広島	食品製造
	(公財)しまね海洋館	浜田	非営利接客
	(株)全日警	広島	空港警備
	(有)玉木製麺	浜田	飲食業
	堂本食品(株)	広島	食品製造
	(株)プレスカ	広島	飲食業
	マルハマ食品(株)	浜田	食品製造
専攻科	進学		
	就職		
	(医法)水澄み会	浜田	介護職
	(株)やまひろ	広島	食品製造
	龍谷大学	京都	文学部
	島根県立農林大学校	大田	農業科
	波方海上技術短期大学校	愛媛	海技士教育科
	広島酔心調理製菓専門学校	広島	調理師コース
	上野トランステック(株)	東京	内航海運
	宇部興産海運(株)	山口	内航海運
専攻科	就職		
	白井汽船(株)	広島	外航海運
	(株)スチールハブ	広島	曳船
	ニッスイマリン工業(株)	福岡	内航海運
	北星海運(株)	東京	内航海運
	舞鶴曳船(株)	京都	曳船
	宮崎産業海運(株)	大分	内航海運
	島根県職員		水産技術センター
	島根県職員		神海丸

カッター部より

毎年のように全国大会へ出場し、予選を勝ち進むことで全国に強豪校として名を知られるようになったカッター部です。しかし、平成29年までは大所帯故に、全国大会への遠征費が学校からの補助では足りず、合宿の費用も含めると数万円にも上る金額は、部員の保護者さんにとって大きな経済的負担となっていました。

この現状を知った山崎会長より、平成30年度の役員会でカッター部への遠征費補助について諮って頂いたところ、役員の皆様より快く同窓会費からの拠出を認めて頂きました。お陰様で生徒たちは練習に集中できるようになり、日本一を目指して日々オールを握っています。会員の皆様には心よりお礼を申し上げます。

【カッター部の成績】

第20回全国大会（H30. 7. 25～27：愛知県蒲郡市）

予選1回戦

1コース	新潟海洋高校	6分20秒	3着
2コース	浜田水産高校	6分03秒	2着
3コース	三谷水産高校	5分55秒	1着

※上位2チームが2回戦へ

予選2回戦

1コース	鹿児島水産高校	6分43秒	2着
2コース	隠岐水産高校	7分20秒	3着
3コース	浜田水産高校	6分36秒	1着

※上位1チームが3回戦へ

予選3回戦（準決勝）

1コース	三谷水産高校	5分56秒	2着
2コース	浜田水産高校	5分57秒	3着
3コース	宮崎海洋高校	5分55秒	1着

※上位1チームが決勝へ

第21回全国大会（R1. 7. 19～21：宮崎県宮崎市）

予選レース

1コース	浜田水産高校	5分58秒	1着
2コース	八戸水産高校	6分47秒	3着
3コース	宮崎海洋高校	5分59秒	2着

※予選18チーム中3番目のタイムで2回戦へ

2回戦レース

1コース	福岡水産高校	5分59秒	1着
2コース	八戸水産高校	6分58秒	3着
3コース	浜田水産高校	6分02秒	2着

※2着チーム2番目のタイムで準決勝へ

準決勝レース

1コース	三谷水産高校	5分42秒	1着
2コース	大島海洋高校	5分55秒	2着
3コース	浜田水産高校	5分56秒	3着

※上位1チームが決勝へ

4年連続でベスト5入りし、強豪校の一つに名をあげられるようになりました。



浜水伝統のロング・ストローク漕法

課題研究発表会

平成20年度より地域水産業の担い手育成プロジェクトに取り組んで以来、現在まで課題研究発表会を続けています。令和元年度の発表会も令和2年1月31日「いわみーる」で行われました。年々発表のレベルも向上し、来賓の方より高い評価を頂いています。会員の皆さんもぜひ見学にお越し下さい。

発表の概要は次のとおりです。興味を引くものがあるのではないのでしょうか。（発表順）

【養殖班：海洋技術科3年生】

- ・フリー配偶体技術を利用したワカメ養殖の研究・管理用海水を次亜塩素酸ナトリウムで消毒してみたが、稚ワカメの成長が極めて悪かった。ダメ元で海へ出したら急成長。自然の力を感じた。

【人工漁業調査班：海洋技術科3年生】

- ・ROVによる人工漁礁効果調査及び操作実習
- ・実習船「あわしま」にROVを搭載して浜田沖人工漁礁の調査を実施、潮が悪く観測できず。対象を自然礁に変更して実施。普段見ることのない海中を見ることができた。

【漁業班：海洋技術科3年生】

- ・浜田沖での漁場調査と漁業体験
- ・竿釣りによる浜田沖生物調査と、延縄の漁具、餌、漁場の選定を行いながら釣果を比較する。漁具は新しいものがよく、数種類の餌を組み合わせると集魚力が高まり釣果も上がった。



種糸上に発芽した稚ワカメの顕微鏡写真。デジタルカメラの普及で高校生でも撮影できる。（養殖班）

【ものづくり班：海洋技術科3年】

- ・水中ロボットの研究開発と機械工作技術の習得
- ・昨年試作したものを改良し後進可能とするため、蓄圧噴射式と絞り噴射式を比較検討する。また、作業性を向上させるために導入する電線と、電源供給方式も合わせて研究する。

【魚食普及班：食品流通科3年】

- ・魚アイスで魚食振興
- ・「アジ」「カレイ」を使った魚アスを考案、塩味と甘みがマッチしていたが、魚臭克服のためさらなる研究が必要。保育園等に提供し魚食普及につなげたい。



お魚アスの発表

【あきひさの万能だれ班：食品流通科3年】

- ・地元企業とコラボ食品作り
- ・共同開発商品「あきひさの万能だれ」を使ったメニューの試作。「あきひさの万能だれ」は市内各所で販売され、販売活動とあわせて水産高校と地元企業のPRに貢献できた。

【レトルト食品開発班：食品流通科3年】

- ・高齢者施設利用者への食品作りとHACCP
- ・試行錯誤を重ねて作ったサバカレーパンを実際に「あいおいの家」で自分たちが作り、利用者に食べてもらった。以後地元のパン屋さんにより製品化され、ダックス（市内スーパー）で販売された。



あきひさの万能だれ

【ビン詰め班：食品流通科3年】

- ・家庭でもできる映えるビン詰めづくり
- ・果物を使ったジャムであれば、家庭にある道具を使ってビン詰めを作ることができた。また、材料のpHによって殺菌の条件と殺菌方法が異なることがわかった。

課題研究発表会の終わりに、令和元年10月20日に浜田青年会議所主催で行われた「第3回高校生政策甲子園」で最優秀賞を受賞した、海洋技術科3年生チームのプレゼンテーションが行われました。「高校生政策甲子園」は、第2次浜田市総合振興計画の発行をうけ、高校生が浜田市の課題解決に向けた政策を提言するという目的でスタートした事業です。市内3高校の生徒が出場し、第1回目は浜田商業高校チームが最優秀賞でしたが、第2回・3回と浜田水産高校チームが最優秀となりました。

新しい校旗

昨秋の学校訪問の際、丸川様より浜田水産高校は多額の寄付を頂きました。使途について校内で協議した結果、古くなって色もくすんでいた校旗を新調することになりました。3月末に届いた新しい校旗は紺地に金糸の刺繍が映える、とてもきれいな校旗です。丸川様には重ねてお礼を申し上げます。



新調した校旗

事務局より

年度末で忙しい校務の合間を見て翠香を作成しているので、会員の皆様に満足して頂けるものにはありませんが、学校と浜水会の様子を伝えようと頑張っています。皆様よりご意見・ご要望を寄せて頂けると、次号には反映させたいと思いますので、よろしくお願いします。

世の中はコロナウイルスに振り回されています、今のところ島根県において感染者は確認されていませんが、県外在住会員の皆様はご心配のことと思います。様々な制限がある日々がいつまで続くかわかりませんが、1日も早く通常の生活に戻ることをできるよう願うばかりです。